

不退転

第 203 号
東江中学校
校長 神元 勉

笑顔、涙、感動の卒業式

9日(金)、第41回卒業式を挙行しました。終始、笑顔に溢れ、感動の涙の卒業式でした。返礼、歌声、聴く姿勢、身なり、どれも見事でした。



■答 辞(安富祖 楓麻)
会場を彩る花々と、温かい拍手に迎えられ、41期生97名の巣立ちの日がやってきました。私達のためにこのような盛大な卒業式を挙行していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

真新しい制服に身を包み、東江中学校に入学して早3年。時の流れが本当に速く感じられます。他の小学校からの新しい仲間を加え、私達は、東江中学校での生活をスタートさせました。始めのうちは、不安と緊張でいっぱいでしたが、月日が経つにつれて学校にも慣れ、元気の良さを見せるようになりました。私達の1年生時代は、授業中の私語や、休み時間の態度などで、先生方や先輩に注意を受ける事が度々ありました。

そんな私たちも、2年生に進級。中堅学年として先輩を支え、後輩を引っ張っていきました。そんな、2年生の思い出といえば、やはり修学旅行です。仲間と、寝食を共にした3泊4日の旅。太宰府天満宮、長崎での自主学习、スキー体験、グリーンランドなど、たくさんの思い出が今、蘇ってきます。その中で、特に盛り上がったレク大会では、これまで知らなかった友達の普段とは違った一面を見ることができました。それと同時に、仲間との団結力が強くなったと実感できた瞬間でもありました。

そして、私たちは3年生に進級しました。先輩方は、数々の行事を成功させ、頼もしい後ろ姿を

見せてくれました。その先輩方に、さらに東江中を良くしてほしい、というエールをもらい、気が引き締まるとともに、不安も感じました。今年度、初めての行事、新入生歓迎会では、執行部を中心に、新たな種目も加わり、全校生徒で盛り上がる事ができました。この歓迎会で、1年生との距離が縮まり、みんなの笑顔が見られたのは、ほっとしました。

6月には運動会がありました。限られた練習期間の中で、全校生徒の先頭に立ちリードすることの大変さ、難しさに悩みながらも、みんなでやり遂げた達成感と満足感を味わうことができました。支えてくれた仲間へは、感謝の気持ちで一杯です。

合唱コンクールでは、どのクラスも最高の歌声を披露し、3年生3クラスとも金賞、3年1組がグラプリを獲得しました。私達が1年生の頃から始めた不退転祭りは、昨年よりレベルアップし、ダンスや舞踊や三線、ハワイ留学の発表や漫才などを披露しました。今年は不退転祭りへの参加希望者が多く、事前にオーディションを開催して出演者を決めました。学級合唱の歌声と、不退転祭りの演技に会場が拍手であふれ、大成功に終わることができました。

また、部活動でも好成績を収めることができました。夏季総体では、女子バレーボール部の優勝など、多くのチームが上位入賞を果たし、地区代表として県大会へ出場しました。ボクシングや、水泳、相撲などの種目でも県代表となって活躍することができました。夏休みからスタートした陸上・駅伝の練習では、きつい時も仲間と声を掛け合いながらメニューをこなし、大会を終えた時は、とても充実感であふれていました。



今こうして、振り返ってみると、様々な思い出が次から次へと浮かんできます。初めは、先生方を困らせて、注意を受けることの多かった私たちですが、仲間と共に学び、一つ一つの行事を成功させ、大きく成長することができました。3年間ご指導くださった先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。

私の大事な仲間、東江中41期生の皆さん。皆さんとは、とても楽しい日々を過ごすことができました。もう、このメンバーで東江中学校に登校することは、ありません。これからは、それぞれが選んだ自分の道へ、進んでいきます。でも、この東江中での生活は、いつまでも私達の記憶の中で輝き続けることでしょう。私達は、ここで学んだことを糧にさらに進化し続けたいと思います。

いつも、一番近くで見守り支えてくれたお父さん、お母さん。今の私達の姿を見てください。まだ立派とは言えませんが、それでもこんなに成長しました。時には優しく、時には厳しく育ててくれてありがとうございます。これからもたくさん迷惑をかけ、心配させることも多いと思いますがよろしくお願いします。

後輩の皆さん、3年間はあっという間です。皆さんの学校生活が有意義なものとなるよう、私達はこれからも東江中を応援し、成長していく東江中を見守りたいと思います。

最後に、会場にお集まりの皆様のご健康と、我が東江中の限らない発展を祈念し、門出の言葉といたします。

■式辞

暖かい春の日差しを浴びて、校庭やなんぐすくの木々も新芽の緑に包まれ、まるで皆さんの門出を祝福しているかのようです。41期生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、皆さん一人ひとりに卒業証書を手渡しましたが、引き締まった表情の中に、3年間の生活を立派にやり遂げたという大きな満足感と、新しい世界へ出発するのだという力強い決意を感じました。

そして、ご家族の皆さま、義務教育9年間を立派に修了したお子様の姿を目の当たりにして、今、皆さまの心の中は大きな感動に満ちあふれていることでしょう。そのお喜びに対して、心からご祝福申し上げます。

さて、私と過ごしたこの3年間のあなた達は、「最高」に輝いていました。時には、先生方とぶつかる場面もありましたが、先生方の指導をよく理解し、かつ信頼し、学習や行事、生徒会活動や部活動などに一生懸命に励んできました。何と云っても、生徒会の活躍が目覚ましく、各種行事を成功裏に導いてくれました。中でも、先輩から引き継いだ「東江中学校人権宣言」に関する一連の取組は、実に見事でした。授業前の「立腰・黙想」の取組は、他校へも広がり、学校を訪れる方々からも絶賛されました。



また、二学期から始めた兄弟学級の縦割り班による「黙動清掃」も随分、定着してきました。新入生歓迎会、運動会、校内合唱コンクールでの不退転祭りなど、多くの感動を演出してくれたこと心から感謝します。そのような皆さんとの別れに際し、はなむけに二つの話をします。まず、「仲間を一人にしない。一人で抱え込まない。」ということです。困っている仲間がいたら、困り感を引き受けて、仲間を支えてください。自分が困った時は、遠慮せず周りの仲間に支えてもらってください。

二つ目は「学び続ける」ということです。これからの社会では、生涯、学び続けることが、ますます重要になってきます。今後も、学び続けることで、高校生活や人生を有意義に、楽しく過ごしてくれると大いに期待しています。皆さんの前途洋々たる幸多き人生を心から祈っています。

最後になりましたが、本日は、ご臨席賜りました多くのご来賓の皆さま、地域やご家族の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、皆さまの今後のご健康とご活躍を心からお祈り致します。学校長式辞とします。ありがとうございます。

